

世田谷村日記

石山修武

五月三日

朝食、きゅうり、カニのサラダ、半熟ゆで卵、ウニ少々とごはん。サラダがおいしかった。十時半世田谷文学館企画展宇野千代に足を運ぶ。十二時半迄。有名無名を問わず、一人の人間の一生の記録というのは克明に観察するに足るものがあるナア、というのが実感であった。流石にお年をめした方の入館が目立ったが、体が縮んで小さくなったようなお婆さん達のそれぞれの記録だつて、充分宇野千代の一生に匹敵するものがあるに違いない。同じ人達がTVのバラエティ、お笑い番組を見ているとはとても思えないのだが、どうか。一人一人の人間は姿形がハッキリしているのだが、集合すると顔が消えてしまうのかな。ゴーヤの苗を買って帰る。昼食は、そうめん、おむすび、野菜サラダ、貝。これで腹一杯になってしまうのだから、胃袋が縮んでいるのだろう。十五時半、近くのコーヒーショップ。十七時半頃まで原稿書く。宗柳に寄り、一人ビールを飲む。ホテルイカの酢づけ、小松菜の漬物、合鴨の柳川ナベと小碗一杯のゴハン。結局夕食になってしまふ。一人が良い時が多くなった。世田谷村に戻り、早々に眠ってしまう。

五月四日

銀河鉄道計画の原稿読み直す。気負いがあるところが、我ながらまだ若い。モスクワの日本文化センターのサイトが四つも候補地が上がってしまったようだ。クレムリンに一番近いモスクワ川

のほりはどうやら借地料が法外な値段で望ましくないらしい。今日は昼に李祖原に会い、CEMAの打合わせを続ける。このプロジェクトも中国の反日デモやクライアントの資金力を巡る問題で、行方定かではないが、二重、三重に対応していく手段は用意しているの、簡単には後退せぬ。複雑に前進していくつもりである。銀河鉄道計画は車輛の二、三台は模型をつくる必要があるな。九時屋上菜園。ゴーヤ植える。生ゴミ大量に埋める。風強し。

五月四日 昼&夜

十一時半大学。キャンパスは休日で静まり返っていて、実に気持ち良い。李祖原と北京CEMA打合わせ。基本的な方針の合意を得る。これで九日の訪台の条件が整った。十三時前代々木、GAに李祖原と二川幸夫氏を訪ねる。久し振りに会う二川氏は自然に年は取られたが元氣そうだった。二川由夫にも会う。ヨーロッパでのレム・コールハースが絶好調だ、という話を聞く。二川さんは相も変わらずだ。十五時大学近くで讃岐うどん喰べて、九日台北での再会を約し、李祖原と別れる。十五時半、モスクワ・プロジェクト打合わせ。十七時半終了。大久保駅前近江屋でビール飲んで十九時過ぎ世田谷村に戻る。鎌田君等と宗柳で夕食。よもぎそば、美味であった。帰り径、ジャスミンを一枚、花ドロボーして戻り、小グラスに生ける。芳香部屋中にむせ返る。